

(回答)

グリーン関数法、というのは、一般的に微分方程式を解くための手法で、この応用は量子力学のみならず、電磁気学や流体など、あらゆる分野で使われています。一方、KKR 法は Korringa, Kohn, および Rostoker という 3 名の物理学者によって提案された電子状態計算手法の一つで、グリーン関数を用いて計算する手法のことを指しています。

(森川良忠)